

会 議 録

会議の名称	平成27年度第2回行田市施設検討委員会
開催日時	平成28年2月12日（金） 開会：午前10時　閉会：午後12時
開催場所	市役所203会議室
出席者氏名	・市川一夫委員長　・宮本伸子副委員長　・新井弘美委員 ・大久保毅委員　・尾澤照男委員　・松井隆委員 ・松岡隆委員
欠席者氏名	
事務局	企画政策課：岩田課長、浅見政策推進幹、大木主査 防災安全課：五十嵐課長、新藤主幹、樋渡主事
会議内容	司会　浅見政策推進幹 議事 (1) JR行田駅前駐輪場について ・前回審議された内容について ・JR北鴻巣駅東口駐輪場の概要について ・現地視察 ・意見交換 (2) その他
会議資料	(1) 第2回行田市施設検討委員会　次第 (2) 【資料1】 前回審議された内容について (3) 【資料2】 JR北鴻巣駅東口駐輪場関係の資料一式
その他必要事項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事
司 会	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、議事に入らせていただく。ここからは、設置要綱第6条の規定に基づき、委員長に議事の進行をお願いする。
市川議長	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、暫時、議長を務めさせていただく。議事の円滑な進行に皆さんのご協力をお願いする。 • 会議の公開・非公開については、委員の率直な意見交換や委員会の意思決定の中立性の観点を踏まえて、会議を非公開とすることで皆さんよろしいか。
委員	< 異議なし >
市川議長	<ul style="list-style-type: none"> • それでは非公開として会議を進める。 • 議事に移る。「JR行田駅前駐輪場」について、まず先日の検討委員会で審議した点を確認する。事務局に説明を求める。
事務局	< 前回審議された内容について資料1に基づき説明 >
市川議長	<ul style="list-style-type: none"> • ただいま事務局から説明があったとおり、壱里山第3駐輪場（以下、「第3駐輪場」という。）及び清水町駐輪場について、整備方法及び有料化の有無の方向性について検討事項が挙げられた。 • 本日はその検討を行うため、鴻巣市の「JR北鴻巣駅東口周辺駐輪場」の視察を行いたいと思う。まずは当駐輪場の概要の説明を行い、現地調査を行った後、この会議室に戻り皆さんのご意見を伺いたいと思う。 • それでは、担当課の防災安全課から、「JR北鴻巣駅東口駐輪場」の概要説明を求める。
防災安全課	< JR北鴻巣駅東口駐輪場の概要を資料2に基づき説明 >
市川議長	<ul style="list-style-type: none"> • ただいま防災安全課から説明があったが、質問や意見はあるか。

<特になし>

市川議長

- ・ よろしいか。それでは現地調査を行う。

< J R 北鴻巣駅東口の 3 ヶ所の駐輪場を現地視察 >

司会

- ・ それでは現地視察を行ったところで、議事を再開する。議事の進行については再び議長から願います。

市川議長

- ・ 引き続き議事を行う。先程各駐輪場の視察を行ったが、本日の議題である、第 3 駐輪場及び清水町駐輪場の整備方法や有料化の検討について、視察後のご意見を改めて伺いたい。

尾澤委員

- ・ 私は、両駐輪場とも屋根等の整備を行い、有料化を行うことが良いと思う。視察したところ、駐輪場の利用者は高校生よりも大学生や通勤の方が多く印象を持った。それであれば多少料金がかかっても、屋根をつけた一定の施設にしたほうが良いと考えた。

宮本委員

- ・ 私も一定の設備を設置し有料化を行ったほうが良いと思うが、駐輪場建物を建設する駅前駐輪場については、その設備に見合った料金を徴収し、第 3 駐輪場や清水町駐輪場は簡易な設備とし、その分利用料金を安価にするなど、差別化を図ったほうが良いと思う。

大久保委員

- ・ 壱里山第 1 駐輪場（以下、「第 1 駐輪場」という。）及び壱里山第 2 駐輪場（以下、「第 2 駐輪場」という。）については、収容台数を確保した駐輪場施設を建設し、有料化とすること。ただし、建設手法については、財政状況が厳しい中でもあることから、市費において建設するのではなく、建設から運営まで民間に委託する方法が良いと思う。
- ・ また、第 3 ・ 清水町駐輪場については、本日の北鴻巣駅の第 3 駐輪場のように、駅から遠い箇所は空車となっていることから、今後の人口減少による駐輪場の需要の減少を考慮し、両駐輪場については、屋根などは設置せず最低限の施設を設置し、安価な利用料金を徴収すれば良いと考える。
- ・ 市財政の厳しい中であるので、民間に建設を委託し運営を行う場合、固定資産税相当の地代を徴収するなども検討すべきと考える。

松岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R 行田駅周辺駐輪場、特に第3駐輪場や清水町駐輪場は、熊谷市と隣接していることから、市外在住の多くの方が利用している特徴がある。その中で利用料金を無料にすることは、受益者負担の原則にそぐわないと思われる。ただし設置する施設は、片流れの屋根など簡単な設備とし、駅前の駐輪場施設に比べ安価な利用料金を設定すべきである。その後利用者の様子を見ながら必要に応じて設備を整えていくべきである。
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前の統合される駐輪場施設の建設そのものを市で行うのか、民間に委託するのかによって事情が変わってくる。私は、建設は民間に委託し、市の能力は別の場所で発揮するべきと考える。また、建設を民間に委託する場合は、市の意向が反映されるような方法で行って欲しい。
松岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい駐輪場設備を設置するに当たって、行田市では鴻巣市の建設・運営方法を参考にするのか。
防災安全課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期的視点で見ると、駐輪場の有料化は必要と考えており、それに見合う駐輪場施設の整備が必要であると考えている。その建設・運営方法の一例として、鴻巣市の手法を今回は紹介したところである。
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先程申し上げたが、建設・運営方法について、市費を投じて施設を建設し、市が利用料金を徴収する方法と、建設・運営ともに民間に委託する方法とでは、コスト面で大きく違ってくると思われる。市では現在どちらの方法を考えているのか。
防災安全課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在市費を投じて建設を行うことは考えていない。民間に委託する方法を考えている。
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日北鴻巣駅周辺の駐輪場を視察したが、駅周辺の第1・第2駐輪場は駅から近いこともあり、施設も一定のものが設置されていたが、駅から遠くあまり利用されていない第3駐輪場は、自転車ラックのみの簡易な設備を設置し運用している。民間に委託するとこのような経営のノウハウがあるので、民間に委託すべきと考える。
防災安全課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日視察した北鴻巣駅周辺駐輪場の建設・運営を行っているのは、前回の委員会で紹介した公益財団法人自転車駐輪場センター（以下、「駐輪場センター」という。）である。以前市から駐輪場センタ

<p>尾澤委員</p>	<p>一に本市の駐輪場の現状と今後の見通しを相談した所、多角的な面からいろいろなアドバイスを受けた。これは当センターが全国様々なところで駐輪場施設の建設・運営を行っている実績があるからだと思う。その相談で、本市の第1・第2駐輪場を統合する駐輪場施設と、第3・清水町駐輪場の施設とでは、利用料金や施設設備の設置レベルも差別化を図るべきである旨のアドバイスも受けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮に民間に委託した場合は、料金設定などは市の意向を汲んでもらえるのか。
<p>防災安全課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮に今回の施設検討委員会において、駐輪場施設の建設・運営を民間委託すべきとの方向性を出て、これを踏まえ市で政策決定をした場合、駐輪場整備センターにおいて約1年をかけて自転車駐輪場の利用者等へのニーズ調査を行い、そのデータを基に建設・運用の計画書を策定し、市に提案することとなる。その中で市の意向を伝えることが出来ると考えている。
<p>松井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆さんの話を伺い、私も第3・清水町駐輪場については、公平性の観点から有料化を行うべきであると考えているが、なるべく安価な価格設定にしたほうが良いと思う。個人的には両駐輪場は屋根等も設置せずにそのままでも良いと考えている。 ・ また、J R 行田駅前の第2駐輪場については、第1駐輪場と統合する際、施設を複層化し、なるべく収容台数を増やし利便性を高くするべきである。
<p>新井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣市の状況を見ると、各J Rの駅前にそれなりの駐輪場施設を有している。それを考慮すると本市も設備投資を行う時期ではないかと考える。有料化についても、最初は無料から一度にすべての施設を有料にすることはいかなものかと考えたが、近隣市の状況を見るとそれも妥当であると今は考えている。 ・ 一つ提案したいのは、料金の学生割引の適用である。特に高校生が通学で自転車を利用する場合は、通勤の方に比べ負担感が大きい。検討して欲しいと思う。 ・ また、河川上の第3・清水町駐輪場については、防犯上屋根と照明があったほうが良いと思われる。 ・ また、J R 行田駅の利用者は、自転車で駅まで向かう人が比較的多

市川議長	<p>い印象を受けたので、例えば新設する駅前駐輪場から駅の階段まで、傘をささずに向かえるような屋根付きの通路を建設するなどの工夫を行うと、付加価値がつき、より利便性の高い駐輪場となるので、検討しても良いのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他に意見はないか。 ・ これまでの皆さんの意見をまとめると、 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「壺里山第3駐輪場」及び「清水町駐輪場」については、近隣市の駅周辺駐輪場の状況や、新設する駐輪場との公平性を考えた場合、一定の整備を行った後、新設する駐輪場施設にあわせ有料化を行うこと。 2. ただし、施設内容や駅までの距離等を考慮し、新設する駐輪場施設の利用料金との差別化を図ること。 <p>であった。</p> ・ ついては、前回の会議で意見が集約された部分と、今回審議した検討内容をあわせ、施設検討委員会の意見としてまとめ、報告書を作成して良いか、また報告書の様式などは事務局に一任しても良いか、皆さんに伺う。
各委員	<p style="text-align: center;">＜異議なし＞</p>
市川議長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、事務局に一任するので宜しく願います。 ・ 承知した。皆様からいただいたご意見を反映させた報告書案を事務局で作成し、後日、皆様宛に郵送するので、ご確認いただきたい。また報告書案に対するご意見をいただく用紙を同封するので、ご返送いただきたい。そこでいただいた意見等を踏まえ、委員長と調整の上、報告書を作成する。
市川議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成した報告書は、後日私から市長に提出させていただく。 ・ 以上をもって、本日の議事をすべて終了する。これをもって議長の職を解かしていただく。
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以上をもって本日の行田市施設検討委員会を閉会とする。 <p style="text-align: center;">＜閉会＞</p>